



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月29日

上場会社名 富士変速機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6295 URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 浩司  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)058(271)6521  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月29日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,959	5.3	327	63.9	344	64.3	242	250.7
2020年12月期第3四半期	4,710	△18.8	199	△53.1	209	△52.5	69	△76.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	14.35	—
2020年12月期第3四半期	4.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	12,134	10,243	84.4
2020年12月期	11,475	10,059	87.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期10,243百万円 2020年12月期10,059百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2021年12月期	—	3.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,050	13.0	430	25.4	450	25.1	300	77.8	17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	17,955,000株	2020年12月期	17,955,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,040,144株	2020年12月期	1,039,944株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	16,914,937株	2020年12月期3Q	16,915,086株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国・アジア地域等における需要回復に牽引され製造業を中心に回復傾向がみられるとともに、国内では変異ウイルスの拡大により4度目の緊急事態宣言が延長されるなか、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進行したことで、景気の先行きに明るさが見られる状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社におきましては、差別化戦略に基づく当社の強みや技術を活かした製品開発と生産体制の最適化を行い、いかなる事業環境の変化にも対応すべく原価低減活動と生産性の向上に努めてまいりました。

減速機関連事業では、顧客ニーズに応えた個別製品の開発による提案営業を進め、新規顧客獲得に注力するとともに、生産体制の改善等による収益獲得に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業では、くし歯式の強みを生かした営業展開により新規開拓に取り組むとともに、既設物件に対する計画的な改修提案や付加価値提案を推進し、製造・施工コストの管理体制強化を進めることにより、受注・収益の獲得に努めてまいりました。

室内外装品関連事業では、生産・品質管理体制の強化を図り、収益改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,959百万円(前年同期比5.3%増)、営業利益は327百万円(前年同期比63.9%増)、経常利益は344百万円(前年同期比64.3%増)、四半期純利益は前期に計上した投資有価証券評価損の計上がなく242百万円(前年同期比250.7%増)となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

#### [減速機関連事業]

工作機械の受注回復の兆しが見えるなか、無人搬送台車駆動用減速機など、当社が得意とする個別製品の受注が堅調に推移したことにより、売上高は2,554百万円(前年同期比3.1%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加や高付加価値製品の構成増加等により168百万円(前年同期比48.4%増)となりました。

#### [駐車場装置関連事業]

新築工事において、工事日程が当第3四半期へ変更となった物件の工事が進捗したことにより、売上高は2,243百万円(前年同期比8.1%増)となりました。営業利益につきましては、製造・施工コストの管理体制強化など継続的な原価低減活動に努めたことにより、176百万円(前年同期比62.6%増)となりました。

#### [室内外装品関連事業]

品質管理の徹底と生産性向上および継続的な原価低減に取り組み、売上高は162百万円(前年同期比2.0%増)、営業損益につきましては17百万円の損失(前年同期は22百万円の損失)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### [資産]

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ659百万円増加し12,134百万円となりました。

流動資産は主に、受取手形及び売掛金が216百万円、現金及び預金が124百万円、未成工事支出金が121百万円、原材料及び貯蔵品が58百万円、前払費用を含むその他の項目が37百万円、製品が16百万円、仕掛品が13百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ587百万円増加し8,353百万円となりました。

固定資産は、減価償却等により有形固定資産が28百万円、無形固定資産が2百万円減少した一方で、保有株式の株価上昇等により投資有価証券が61百万円、前払年金費用を含むその他の項目が42百万円増加したことで、前事業年度末に比べ71百万円増加し3,780百万円となりました。

[負債]

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ474百万円増加し1,890百万円となりました。

流動負債は、未払金を含むその他の項目が38百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が384百万円、引当金が50百万円、未払法人税等が24百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ421百万円増加し1,466百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が27百万円、長期リース債務を含むその他の項目が19百万円、役員退職慰労引当金が6百万円増加したことにより、前事業年度末に比べ53百万円増加し423百万円となりました。

[純資産]

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ184百万円増加し10,243百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が141百万円、その他有価証券評価差額金が43百万円増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ3.3ポイント減少し84.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、工作機械の受注回復が鮮明となる一方、新型コロナウイルス感染症の再拡大や材料価格高騰、海外からの輸入原材料の調達懸念等により、依然として経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われま

す。これら状況を踏まえ、2021年12月期の業績予想につきましては、現時点では2021年2月4日に公表しました予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,490,179	4,614,823
受取手形及び売掛金	2,130,233	2,346,267
製品	44,065	60,670
仕掛品	538,488	551,806
未成工事支出金	134,226	255,434
原材料及び貯蔵品	392,684	450,876
その他	42,465	80,393
貸倒引当金	△6,405	△7,063
流動資産合計	7,765,937	8,353,209
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,552,759	2,574,714
減価償却累計額	△1,911,345	△1,950,533
建物(純額)	641,413	624,180
機械及び装置	2,409,379	2,460,545
減価償却累計額	△1,884,631	△1,956,543
機械及び装置(純額)	524,747	504,001
土地	1,604,963	1,604,963
建設仮勘定	-	100
その他	1,044,271	1,083,748
減価償却累計額	△903,454	△933,416
その他(純額)	140,817	150,331
有形固定資産合計	2,911,942	2,883,577
無形固定資産	53,507	50,560
投資その他の資産		
投資有価証券	288,394	349,424
その他	455,260	497,319
投資その他の資産合計	743,655	846,743
固定資産合計	3,709,105	3,780,881
資産合計	11,475,043	12,134,091

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	691,455	1,075,925
未払法人税等	85,828	110,337
引当金	51,737	102,726
その他	216,964	177,996
流動負債合計	1,045,985	1,466,985
固定負債		
退職給付引当金	316,548	343,585
役員退職慰労引当金	18,380	24,650
その他	35,017	54,981
固定負債合計	369,946	423,216
負債合計	1,415,932	1,890,202
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,954	3,896,954
利益剰余金	3,881,870	4,023,172
自己株式	△198,023	△198,088
株主資本合計	10,088,301	10,229,538
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△29,190	14,350
評価・換算差額等合計	△29,190	14,350
純資産合計	10,059,111	10,243,888
負債純資産合計	11,475,043	12,134,091

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	4,710,437	4,959,779
売上原価	3,877,736	3,954,417
売上総利益	832,700	1,005,362
販売費及び一般管理費	632,961	677,958
営業利益	199,739	327,403
営業外収益		
受取利息	269	156
受取配当金	5,603	6,851
保険配当金	152	4,669
受取ロイヤリティー	4,035	4,115
その他	4,634	7,750
営業外収益合計	14,695	23,543
営業外費用		
売上割引	4,099	3,737
電力契約変更費用	-	1,955
その他	371	282
営業外費用合計	4,471	5,976
経常利益	209,962	344,971
特別利益		
固定資産売却益	1,149	252
投資有価証券売却益	-	3,600
特別利益合計	1,149	3,852
特別損失		
投資有価証券評価損	110,753	-
固定資産除却損	108	0
特別損失合計	110,862	0
税引前四半期純利益	100,250	348,823
法人税、住民税及び事業税	35,109	131,004
法人税等調整額	△4,085	△24,972
法人税等合計	31,023	106,031
四半期純利益	69,226	242,791



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,476,787	2,074,194	159,455	4,710,437	—	4,710,437
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,636	—	—	35,636	△35,636	—
計	2,512,423	2,074,194	159,455	4,746,073	△35,636	4,710,437
セグメント利益又は損失(△)	113,431	108,511	△22,204	199,739	—	199,739

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,554,085	2,243,026	162,667	4,959,779	—	4,959,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75,641	—	—	75,641	△75,641	—
計	2,629,726	2,243,026	162,667	5,035,420	△75,641	4,959,779
セグメント利益又は損失(△)	168,308	176,443	△17,347	327,403	—	327,403

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。